TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

(https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/)

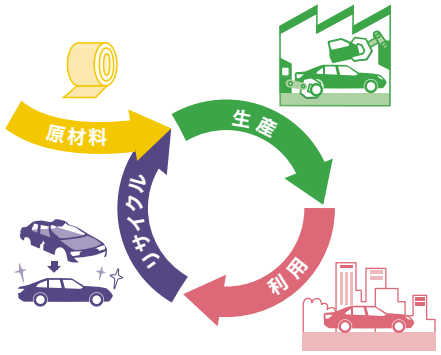
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO_2排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ クラウン環境仕様

車両型式				6LA-AZSH39W	6AA-AZSH38W	6AA-AZSH38W
車両重量			kg	2,080～2,090	1,890～1,900	1,880
CO_2排出量＊1 WLTCモード			g/km	116	114	113
排出ガス	認定レベル値または適合規制（国土交通省）			平成30年基準75%低減レベル＊2		
	認定レベル値または適合規制値	CO/NMHC/NOx	g/km	1.15/0.025/0.013		
		PM	g/km(個/km)	0.005 (6.0×10^{11})		
車外騒音	規制区分			平成28年騒音規制 M1B3A		
	加速（規制値）/定常/近接		dB	69/ー/70	69/ー/72	
冷媒の種類（GWP値＊3）/使用量			g	HFO-1234yf（1＊4）/400		
環境負荷物質削減		鉛/水銀		自工会2006年自主目標達成（1996年比1/10以下＊5）/自工会自主目標達成（2005年1月以降使用禁止＊6）		
		カドミウム/六価クロム		自工会自主目標達成（2007年1月以降使用禁止）/自工会自主目標達成（2008年1月以降使用禁止）		
車室内VOC＊7				自工会目標達成（厚生労働省室内濃度指針値以下）		
環境負荷物質使用状況等		鉛		電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子（PZTセンサー）等に使用 鉛廃止済み部品：電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバランサー、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど		
		水銀		水銀廃止済み部品：コンビネーションメーター		
		六価クロム		六価クロムの使用無し/六価クロム廃止済み部品：金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他		
		カドミウム		カドミウムの使用無し/カドミウム廃止済み部品：電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他		
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品		TSOP	バンパー・インストルメントパネル・モールディングロッカーパネルなど		
			TPO	ガラスラン、レインガーターモールなど		
	植物素材の活用		ケナフ	ドアトリム		
	リサイクル材の使用	再生フェルト		フロアサイレンサー・ダッシュサイレンサー等		
		再生ポリプロピレン		ハイブリッドバッテー冷却ダクト、デフロスターノズル、グローブボックス		
	樹脂、ゴム部品への材料表示			あり		

＊1. 燃料消費率は「主要諸元表」をご覧ください。 ＊2. WLTCモード走行 ＊3. GWP：Global Warming Potential（地球温暖化係数） ＊4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。 ＊5. 1996年乗用車の業界平均1,850ｇ（リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く）。 ＊6. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯（交通安全上必須な部品の極微量使用を除外）。 ＊7. VOC：Volatile Organic Compounds

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

リサイクル料金表（全車） ※リサイクル料金は'26年11月時点の金額。

リサイクル預託金				資金管理料金	合 計
シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
12,830円	2,800円	ー	130円	290円	16,050円

■リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者（譲渡人）は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者（譲受人）からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくは、取扱い販売店におたずねください。